

第2期定時総会 活動の総括

1. 連携と相互支援事業
2. 学校ビオトープ事業
3. 調査・研究・研修事業

2006.08.26

日本ビオトープ管理士会徳島支部

1. 連携と相互支援事業

計 画

1. 広報と会員の増員 / 2. 交流会開催3回

実 施

1. 広報と会員の増員
 - 1) パンフレット配布190部
 - 2) 2004年度12名 2005年度23名 2006年度19名
 - 3) 賛助会員:2005年度3社 2006年度3社+?
2. 交流会開催 2回
3. 協賛事業 2件
4. 管理士試験徳島会場運営協力
5. 徳島県ビオトープ・アドバイザー4名登録

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会活動報告

2

1) 学校ビオトープ活動等への支援のあり方 ～学校における環境教育及び環境保全活動の現状から支援のあり方を考える～

とくしま環境カウンセラー協議会会長

大川健次氏 招待者3名の参加



交流会の後、懇親会にて有意義な時間を過ごし、今後も機会を得たいとの意見が多かった。(カメラ忘れました。スママセン!!)

(1) テーマ

・環境教育の現状と問題点

(2) ニーズや課題

- ・環境教育副読本の全面改訂の必要性
- ・学校における環境教育のトーンダウン
- ・学校版環境!SO事業の偏り(省エネ、リサイクル)
- ・環境教育の担当教員のレベルアップの必要性(専任教員の配置及び外部講師の利用)
- ・環境教育の曖昧な位置づけと間違った教育

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会活動報告

3

2) 地域のビオトープ活動の現状と 取組団体との交流

～地域におけるビオトープ活動の現状から支援のあり方を考える～



対外的活動の第1弾となりました!

夢とロマンのまちづくり協議会

めだかの里で

- ・意見交換
- ・生き物調べ
- ・草刈管理作業

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会活動報告

4

3) 連携事業 1 / 2

1. 第1回子ども自然学習シンポジウム



管理士会徳島支部
総会活動報告

5

3) 連携事業 2 / 2

2. いきものふれあいの里展



管理士
総会活動報告

2. 支援事業 学校ビオトープ

計 画

アンケート調査2校 / 担当者交流会3回

実 施

アンケート調査1校 2回 延べ400人

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

7

アンケート結果と考察

MEMORIAL



市内小学校児童対象

活動前: 4~6年生約300名

活動後: 主体5年生約100名



ビオトープ池

20060519

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

8

3. 調査・研究・研修事業

計 画

定例会6回 / 一般者アンケート

実 施

定例会5回 / 検討会5回(報告会含む)

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

9

第1回定例会 7月22日(金)



(1)テーマ(担当) 招待者 1名参加

- ・環境の保全・創出と数値解析(天羽)
- ・ビオトープ管理士の責務とは(飯山)

(2)ニーズや課題

- ・日本におけるダムの必要性
- ・緑のダムの効果(様々な角度からの検証)
- ・棚田の価値(景観や文化、自然からの検証)
- ・公共事業へのビオトープ導入における問題
- ・街路樹の剪定(落ち葉、害虫の対策)
- ・ホテイアオイの対策(利用と駆除)
- ・利用と安全管理のバランス(自然環境におけるリスクとハザード)
- ・絶滅危惧種などの保護はどうあるべきか

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

10

第2回定例会 9月29日(木)



(1)テーマ(担当) 招待者 2名参加

- ・身近な生き物と農業の関わり(石川)
- ・多自然型川づくり(犬伏)

(2)ニーズや課題

- ・農業の作業性向上と自然環境の保全のバランス(自然環境に配慮した農業を実現するには?)
- ・農家(地権者)の意識改革
- ・国、都道府県の政策と現場(市町村、農家、地権者)の意識格差
- ・行政の担当者や学校の教員の力量に左右される自然環境に配慮した公共事業と環境学習
- ・海外に依存する日本の食事情(自給率低下とバーチャルウォーカー)

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

11

第3回定例会 11月16日(水)

写真
撮り忘れました

残念!!

(1)テーマ(担当) 招待者 2名参加

- ・環境保全活動の雑感(榎本)
- ・外来生物について-理解と適切な対応-(小倉)

(2)ニーズや課題

- ・間違った環境保全活動(公共事業、地域活動、環境教育、など)への対応。
- ・「エコ」や「ビオトープ」といった言葉のイメージ先行による本質の欠如。
- ・外来生物法の指定による弊害(野外に放すなど)。
- ・動物愛護や環境美化と自然保護の違いの理解。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

12

第4回定例会 1月28日(土)



- (1)テーマ(担当) **招待者 4名参加**
 ・河川の多自然型川づくりの現状等について(河内)
 ・ビオトープを普及啓発するには?(佐藤)
- (2)ニーズや課題
 ・自然再生事業(植樹)等への積極的な参画
 ・農村の自然環境保全の補助制度(高齢化による労働力不足解消や経済的負担の軽減)
 ・地域住民の協力、理解を得るための手法
 ・ビオトープの普及啓発の手法(危機的状況にある環境問題を実感してもらふ伝え方)
 ・ビオトープや自然生態系の本質の理解
 ・学校ビオトープを「つくる」から「活かす」への転換
 ・学校ビオトープの取り組みにおける専門家によるトータルプロデュースできる体制づくり

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

13

第5回定例会 5月17日(水)



河畔のエノキ伐採の仕事を辞退した話には脱帽です。



- (1)テーマ(担当) **特別参加 1名参加**
 ・樹木の生理と環境保全(矢野)
- (2)ニーズや課題
 ・樹木にも針葉、広葉、常緑、落葉、と様々あり、それぞれに生き残り戦略が違う。
 ・樹木は生長し続けないと生きて行けないという宿命を持っている。
 ・これらの整理を理解した対応が必要。
 ・街路樹のあり方には様々な課題が潜在。
 ・土木工事における樹木や自然環境の取り扱い、あまりにも矛盾が多い。
 ・作業の都合で伐採が安易に行われ、その後の処理はスズン極まる。
 ・樹木とCO₂固定・分解の誤解と間違った緑のリサイクル。
 ・希少種、いっばい運動...? 自生地には不法投棄のゴミ、開発で消失した場所も。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

14

懇親会 2006新年会



新年懇親会

徳島県のビオトープアドバイザー制度にビオトープ管理士個人ではなく徳島支部として委嘱を受ける案が上がった。

それぞれの思いに会話が弾み、時間が経つのを忘れた。会議とは、一味、二味違った会話で、これもまた有意義であった。

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

15

第1回検討会 10月25日(火)



- (1)テーマ
 ・活動の活性化について(問題点や課題の抽出)
- (2)ニーズや課題
 ・テーマに応じたパンフレットの必要性
 ・行政と県民との仲介役を担う
 ・行政のビオトープ事業(政策)の拡大と推進
 ・行政の担当者や学校の教員など、指導者側に対する情報提供やレベルアップのための支援
 ・会員同士の情報交換の場や相互支援のための定例会、研修会の継続と発展
 ・活動フィールド(拠点)の保有
 ・フィールド講座や実践的な講座の開催
 ・地域住民によるビオトープ整備事例における維持管理の継続(担い手や資金不足による荒廃)
 ・ビオトープの視点が欠如した事例への支援のあり方(アプローチの仕方)
 ・徳島県内の自然環境(資源)やビオトープ事例等の情報収集及び活用

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

16

第2回検討会 3月15日(水)



- (1)テーマ
 ・活動を前進させるための方策(課題の整理)

(2)検討結果

徳島県の将来像のイメージ

・ビオトープ管理士の必要性が認められている・自然と人との共生・共存が成立している・次世代にも自然が残せた・身近な場所に自然が残る・産業と自然が調和した・自然環境の大切さが浸透した・環境先進県トップ・自然が蘇った・モラルが向上した

徳島支部の使命

・理解者を増やす・知見を深める・大切さを人に伝える・自らが行動する・人を育てる

日ごろ感じている問題点や課題

・問題点や課題として34の事項が挙げられた



2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

17

第3回検討会 4月4日(火)



- (1)テーマ
 ・第2回につづき、新参加者の追加意見聴取

(2)検討結果

徳島県の将来像のイメージ

- ・報告と承認
- ・徳島支部の使命
- ・報告と承認
- ・日ごろ感じている問題点や課題
- ・二つの事項が追加され、合計36となった

2006/8/26

日本ビオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

18

第4回検討会 4月28日(金)



(1)テーマ

・整理された課題の評価と検証

(2)検討結果

徳島県の将来像のイメージ

・ピオトープの大切さが理解され、あらゆる活動の場において、自然環境への配慮が当たり前となり、将来世代に豊かな自然の恵みと身近な自然を残すことができる。即ち、「**自然と人との共生・共存が成立した徳島県**」を望ましい将来像として掲げ、長期目標とする。

徳島支部の使命

・ピオトープの大切さを「**伝え**」、理解者を「**増やし**」、知見を「**深め**」、自らが「**動き**」、心豊かな人を「**育てる**」こと。

日ごろ感じている問題点や課題

- ・36の事項を類型化し、18の事項に集約
- ・重要性や緊急性から評価し、9の事項を選出
- ・選出した事項の討議による検証



2006/8/26

日本ピオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

19

第5回検討会(報告会)及び 歓送会(佐藤・谷本) 6月17日



・検討会の成果報告(事務局)

1. より具体的な取組について討議が必要。
2. 理事会で更に深化させ報告する。
3. 内向から外向への展開を目指す。

・歓送会(佐藤・谷本)

1. 共に、良きパートナーを射止めたとの報告。
2. やがて、福岡支部や愛媛支部の設立が聞こえてくるかも?
3. 今後も、引き続き情報交換が約束されました。(急速、特別会員という扱いが・・・)
4. 二次回では、「他では聞けない、話せない様々な情報」が交わされました。



2006/8/26

日本ピオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

20

検討会の成果報告(理事会において調整)

1. ピオトープ・サロンの運営(連携事業)
2. ピオトープ・サポートの実践(支援事業)
3. ピオトープ・ナビの発行(研修事業)
4. ピオトープ・ニュースの発行(公報事業)
5. ピオトープ・カルテの作成(保全事業)
6. ピオトープ・セミナーの開催(啓発事業)

2006/8/26

日本ピオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

21

トピックス 1 / 2

徳島新聞:060522



徳島新聞:060522



「希少植物繁殖地に」

- ・完成当初は**希少種中心**に30種類ほどの草木。
- ・その後、支援者や校長らが**県内外**の大学や知人を通じて**希少植物**を入手。
- ・児童が植えたり管理して、**種類を3倍以上**に増やした。

「ピオ・ガーデン教室」

- ・土やコケ、雑草などで昆虫飼育ケースの中に**自然の状態を作り出す**。
- ・**昆虫を飼う機会**が増える夏場前に、子どもたちに**自然の大切さ**を知ってもらうのがねらい。

2006/8/26

日本ピオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

22

トピックス 2 / 2

徳島新聞:060528



「オオキンケイギク那賀で見ごろ」

- ・鮮やかな黄色の花を咲かせ、訪れた**人の目を楽しませている**。
- ・護岸工事が行われた**12年前、旧相生土木が種をまいた**。
- ・遊びに来ていた **さんは「一面に咲き誇り、すばらしい景観ですね」と驚いていた。**

徳島新聞:060522



「外来生物指定困った」

- ・1968年から**蚊の駆除**として、用水路など野外に放流してきたカダヤシ。
- ・市民の評判良く、**毎年数千匹ずつ40年**、現在育てている**四千匹が絶滅状態**になる恐れ。

2006/8/26

日本ピオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

23

今期の目標

1. 対外的取組の始動
 - ・連携事業推進のために行動する
2. 戦略的な企画事業の推進
 - ・本部の研修支援の制度を活かす

会員一丸となって実現しよう!

2006/8/26

日本ピオトープ管理士会徳島支部
第2期定時総会:活動報告

24